

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト

実証実験の結果概要について



地域課題解決支援事業の目的・概要

目的

民間事業者等と市が協働しながら、地域課題や行政課題の解決に当たることで市民サービスの向上を図るとともに、イノベーションや新たなビジネスの創造につなげる。

概要

各課が抱える課題と、技術やノウハウを持つ民間事業者等とのマッチングを行い実証実験・実装につなげ、協働での課題解決をめざす。

実証実験を行う民間事業者等には、上限50万円の補助金を支給する。

公募

中間支援事業者・特定非営利活動法人コミュニティリンクが運営する「アーバンイノベーション豊中」の枠組みで事業者公募

公募期間：令和7年（2025年）4月18日～5月18日

審査を経て、6月13日付けで2団体を採択

採択団体・課題一覧

担当課	採択団体	課題
くらし支援課	シェアフル株式会社	女性・シニアと企業を繋ぐ！豊中市の新しい働き方の実証
長寿安心課	CiPPo株式会社	スマホで安心を！高齢者のデジタル活用で地域をつなぐ

くらし支援課 × シェアフル株式会社



実証実験の内容

希望する時間や場所でスキマバイトが探せるアプリ「シェアフル」を用いて、市内事業者の登録と女性・シニアをはじめとする市民の登録を促した。事業者、市民ともにスポットワークを体験してもらうことで、多様な働き方に関するニーズの把握や事業者の業務の切り出し方を確認した。

実証実験の成果

- 女性・シニア向けアンケートの結果では、スポットワークへのニーズが高いことを確認
- 市民向けインタビューでは、ライフスタイルに合わせて働けることは魅力があることを確認
- 専門職（看護師や技術職等）の経験をいかせるスポットワークに一定の需要があることを確認
- 企業からは、業務の切り出しイメージがわからない声や、スポットワーク導入検討が進んでも社内調整などで、導入までに時間がかかることを確認



シェアフル
by PERSOL

長寿安心課 × CiPPo株式会社



実証実験の内容

高齢者向けアプリ及び市公式LINEを通じた居場所・体操動画・緊急通報などの情報発信を行い、ツールの第一印象や使いやすさに関する意見聴取を実施し、アプリとLINEの導入に関する比較検討を行った。

実証実験の成果

・年齢によって、アプリとLINEの使いやすさや導入のきっかけが異なることが分かった。

【アプリについて】

・アプリのインストール方法やパスワードが分からない人が一定数いる。
→説明会を継続的に開催する必要がある。

【LINEについて】

・ボタンが押しにくい。文字が小さくて見にくい。
→全市民を対象としているため、高齢者の使いやすさに特化した取組に限界がある。

「両方」を選択した人のうち、全体的にどちらが使いやすいと感じたか？ (n=62)

